

平成 24 年 12 月 19 日

長大が参画するフィリピン・ミンダナオ島の 8MW 級水力発電所

2014 年の運営開始に向けて、既に SPC の設立も完了

「アシガ川小水力発電所」で起工式実施

現地の高い期待を反映—地元州知事、市長、エネルギー省再生可能エネルギー局長らも参列

株式会社長大(東京都中央区、永治泰司代表取締役社長。以下「当社」)は、12 月 18 日、フィリピンはミンダナオ島において、現地企業 3 社と開発を進めている 8MW 級の水力発電所—アシガ川小水力発電事業(発電容量:約 8MW。事業費:約 24 億円。2014 年初頭に運営開始予定。以下「本事業」)の開発予定サイトで、起工式を執り行いました。

起工式は、本事業のサイトであるサンティアゴで、同日午後 12 時半に開始、約 1 時間にわたって、本事業の出資者、政府機関の幹部、地元自治体の首長や幹部、関係者のほか地元住民ら約 200 名が参列し、盛大に実施されました。

主な参列者には、当社と共に本事業の開発をしているミンダナオ島最大のゼネコンであり、アシガ川小水力発電事業の運営会社 (SPC) として今年 7 月 27 日に設立されたアシガ・グリーン・エナジー・コーポレーション (Asiga Green Energy Corporation。以下「AGEC」) の最大株主でもあるエクイパルコ社(本社:同島ブトゥアン市)及びフィリピン企業 2 社 (添付参考資料ご参照) の代表者・幹部のほか、アシガ川小水力発電所が所在する北アグサン州のアマンテ知事、サンティアゴのリム市長、エネルギー省のマラシガン再生可能エネルギー局長、フィリピン開発銀行のナリスマ・ミンダナオ北東部責任者らをはじめ錚々たる顔ぶれが並び、本事業に対する現地での期待の高さを裏付けるものでした。

なお、当社からは、取締役常務執行役員・海外事業本部長の三浦健也、事業推進本部事業企画部長の宗広裕司、同本部リスク管理部長で AGEC の取締役に就任している加藤聡、同本部事業企画部専門技師の諏訪晟治の 4 名が参加しています。

起工式では、北アグサン州知事の祝辞、AGEC の代表 (President) でエクイパルコ社の COO でもあるラグナダ氏の式辞など来賓からの祝辞に続いて、日本で言うところの「鍬入れ」のセレモニーを実施。その後、当社の三浦海外事業本部長も壇上に立ち、本事業を皮切りに、主に水力事業を通じてミンダナオ島、引いてはフィリピンの経済発展のために、今後も当社が積極的に取り組んでいく決意を述べています。

当社では、今年 4 月 30 日に、本事業のパートナーであるエクイパルコ社ら現地企業 3 社と基本契約書を締結、本事業のほか、「タギボ川小水力発電事業」(発電容量:約 5MW。事業費:約 14 億円。

2014 年半ばに運営開始予定)、「ワワ川小水力発電事業」(発電容量:20~30MW。事業費:約 100 億円。2014 年度内に運営開始予定)の開発を共同で進めていくことについて合意済みです。

また、ワワ川小水力発電事業については、今年 7 月に経済産業省の平成 24 年度「インフラ・システム輸出促進調査等事業(円借款・民活インフラ案件形成等調査)」(以下「本調査事業」)の採択を受け、当社が代表企業となって現在、事業可能性調査を実施しています。

.....

フィリピンのミンダナオ島は、海産物資源や稲作を中心とした農作物や森林・鉱物資源が豊富である一方、電力供給力が乏しく安定性に欠けることが、経済発展の足かせとなっている状況です。ミンダナオ島では、電力需要が毎年 5%前後増加して電力需給が逼迫していることもあり、安定したエネルギー供給が喫緊の課題となっています。

水力発電は、我が国で 100 年以上の歴史を有するなど技術的に確立されていることから、日本の高度な技術に対する現地のニーズや信頼は高いものがあります。

本事業では、当社が技術アドバイザーの立場から、高度な技術力をベースにした日本スタンダードの導入を通して、より効率的な発電事業が実現することで現地の経済開発に貢献すると共に、水車発電機メーカーをはじめ日本企業が参画しやすい環境整備に寄与するものになります。

縮小が続く国内の公共事業のマーケットと、アジアを中心とする旺盛なインフラ需要を背景に、「パッケージ型インフラ海外展開」について国を挙げての議論が展開される中で、当社では、本事業がこうした政策にも合致し、日本企業にとって新たな収益機会となるモデル案件に位置付けされるものだと考えています。

■ お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

宗広裕司 (むねひろ・ゆうじ)

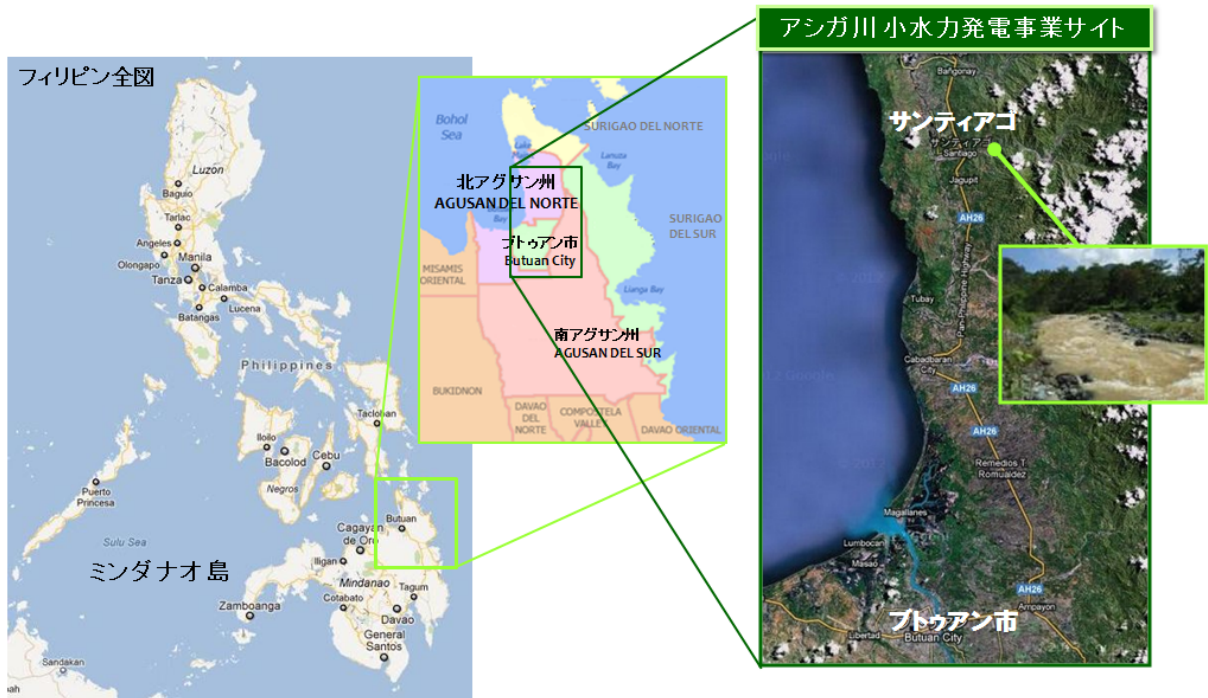
株式会社長大 事業推進本部 事業企画部長

電子メール: munehiro-y@chodai.co.jp

電話: 03-3639-3321 / 携帯: 080-5048-8137

参考資料：

1. アシガ川小水力発電事業の位置図



発電所所在地:	Barangay, Poblacion 1, Santiago, Agusan del Norte バラングアイ・ポブラシオン1、サンティアゴ、北アグサン州
---------	---

2. アシガ川小水力発電事業の SPC (運営会社) 概要

社名:	ASIGA GREEN ENERGY CORPORATION アシガ・グリーン・エナジー・コーポレーション
設立:	2012年7月27日
本社:	フィリピン国 ミンダナオ島 北アグサン州 ブトゥアン市
代表:	President : Ronnie Vicente C. Lagnada (ロニー・ヴィセンテ・C・ラグナダ) (エクイパルコ社 COO)
主な役員:	Hendrick R. Manegdeg (ヘンドリック・R・マネグデグ) (ハイドロリソース社プレジデント)
	高野元秀 (ツインピーク社プレジデント)
	加藤 聡 (株式会社長大 事業推進本部 リスク管理部長)

3. 水力発電事業 3 サイトの概要

	アシガ川小水力発電事業	タギボ川小水力発電事業	ワワ川小水力発電事業
発電容量(予定)	約 8MW	約 5MW	30MW 級
事業費(予定)	約 24 億円	約 14 億円	約 100 億円
事業開始(予定)	2014 年初頭	2014 年半ば	2014 年度内
事業主体(SPC)	アシガ・グリーン・エナジー・コーポレーション	タギボ・グリーン・エナジー・コーポレーション(予定)	設立予定
長大の関与	1) SPC への 10%の出資、 2) SPC への取締役 1 名の派遣、 3) SPC への以下 5 種コンサルティングサービスの提供 (ア) エンジニアリング・レビュー (イ) 施工監理に関するコンサルティング (ウ) O&M に関するコンサルティング (エ) 日本メーカーの発電機器調達に関するアドバイス、サポート (オ) 日本の金融機関の情報提供		
パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ エクイパルコ社 ・ ハイドロリソース社 ・ ツインピーク社 		

4. 現地パートナー企業の概要

社名:	エクイパルコ社 (EQUIPARCO CONSTRUCTION COMPANY)
業務内容:	ゼネコン(ミンダナオ島最大手)
本社:	フィリピン国 ミンダナオ島 北アグサン州 ブトゥアン市
役員:	CEO: ルーベン・A・ジャヴィエール (Ruben A. Javier)、 COO: ロニー・ヴィセンテ・C・ラグナダ (Ronnie Vicente C. Lagnada)

社名:	ハイドロリソース社 (HYDRO RESOURCES MANAGEMENT AND CONSULTANCY, INC.)
業務内容:	小水力発電コンサル企業
本社:	フィリピン国 メトロマニラ・ケソン市

社名:	ツインピーク社 (TWINPEAK HYDRO RESOURCES CORPORATION)
業務内容:	事業企画開発、投資
本社:	フィリピン国 ミンダナオ島 北アグサン州 ブトゥアン市

以上